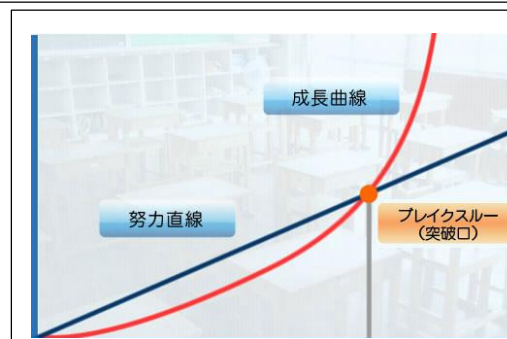


校長室から

先日の全校集会で「努力の壺」について話をしました。人が「新しいことにチャレンジしよう」「できないことをできるようになろう」と思ったとき、神様から努力の壺をもらいます。もらった人は、その中に一生懸命「努力」を入れて、それが壺からあふれたときに、成果が表れるというお話です。子どもたちには、努力をしてもすぐには成果は見えないけれど、ある一線を超えると、ぐんと成長する時がくる、それまでがんばって、努力しましょうということを伝えています。グラフで表すとちょうど、右のようになります。努力を一定続けていくと(努力直線)、ある時、急に成長をします(成長曲線)。成長曲線が努力直線を追い越すところをブレイクスルーと呼びます。ブレイクスルーのポイントから成長が目に見えるようになります。勉強でもスポーツでも芸術でも、このブレイクスルーを超えた経験のある人は、努力の大切さを知っていますし、自分の力や可能性を信じてことができます。私たち教職員も、子どもたちが「できた!」「伸びた!」という達成感を味わわせてあげることが大切であると思います。家庭でもご指導いただけたらと思います。



熊本地震災害救援募金

ご協力ありがとうございました。

熊本を中心に震度7の地震が起こりました。生徒会やボランティアの生徒たちから、なんとか被災された人の力になりたいということで募金活動を始めました。校門前で3日間、東貝塚駅で2日間、そして4月29日の昭和の日にはオークワで募金活動を行いました。活動をしている間、地域の人や卒業生から「二中はいいことしてくれているね。」や「がんばってね。」という声をかけてもらい、逆に励ましてもらうこともありました。この6日間で合計で80,926円集まりました。朝早くから活動をした生徒会やボランティアのみなさん、募金に協力してくれた生徒のみなさん、保護者や地域の方にお礼申し上げます。集まったお金は日本赤十字社を通して被災された方の支援に使われます。



(オークワ前で募金活動をする生徒たち)

自学自習ノートの取組み

3学年そろって自学自習ノートの取組みがはじまりました。学力の定着のためには、家庭学習は欠かせません。中でも、授業で分からなかった所を中心に勉強したり、興味のあるところを更に深めるなど、自分で課題を設定して、工夫しながら学習することは自主性を伸ばし勉強への意欲を高めます。この取組みが1年間続き、家庭学習が習慣化できるよう家庭と協力しながら続けていきたいと思いますのでご協力よろしくお願いします。

相談窓口

- いじめ、不登校、セクシャルハラスメント等で、気になることやお困りのことがございましたら、担任、生徒指導主事、人権教育担当、養護教諭、校長、教頭等、ケースに応じて相談しやすい教職員を窓口にご相談ください。
- 発達に関する相談も、担任を通じて、特別支援コーディネーターに相談することができます。
- スクールカウンセラーへの相談も、担任を通じて申し込むことができます。(相談日：毎週水曜日)
- 学校以外にも次のような相談窓口があります。
 - 貝塚市教育相談 433-7110
 - 大阪府教育センター「すこやか教育相談」
 - 06-6607-7361 (生徒専用)
 - 06-6607-7362 (保護者専用)